

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 7 年 9 月 定 例 会

1 番 中 島 好 人 議 員

1 「地域住民生活等緊急のための交付金」いわゆる「新交付金」の活用について

- (1) 当市は、「地方創生」にどのように取り組もうとしているのか。
- (2) 当市は、「地方創生先行型交付金」の活用をどのような事業に活用しようとしているのか。
- (3) 「地方先行型交付金」を活用した子どもの医療費助成の拡充や保育料軽減について
- (4) 当市は、「地域消費喚起・生活支援型交付金」の活用をどのような事業に活用しようとしているのか。
- (5) 「地域消費喚起・生活支援型交付金」を活用した商店リニューアル助成事業の創設について

2 国保事業について

- (1) 国保料引き下げについて
- (2) 子どものいる家庭への減免について
- (3) 多子世帯への減免制度の創設について

3 子ども・子育て支援新制度について

- (1) 保育を必要としている人が望む保育園に入所されているか。
- (2) 保育時間の認定について
- (3) 保育士の処遇改善について

2 番 下 瀬 俊 夫 議 員

1 白井市長の一般質問等における本会議答弁について問う。

これまでの一般質問に対する白井市長の答弁の妥当性を問う。

2 救急医療行政について問う。

- (1) 今年 2 月 2 5 日、市の F B ページに「このままでは救急医療が守れません！」の訴えが掲載された。この訴えの意図は何か。
- (2) この中で「安易に救急車を呼ばないで」とあるが、どういう意図なのか。
- (3) 「緊急性のない夜間診療はやめて」との意図は何か。

3 地域医療行政について問う。

- (1) 開業医の高齢化など、無医地区対策を含めて地域医療の充実をどう考えているのか。
- (2) 市民病院など地域の中核病院と開業医を結ぶ医療ネットワークが必要ではないか。
- (3) 急患診療所の平日夜間診療などの充実策はあるのか。

3番 河崎平男 議員

1 総合教育会議について

総合教育会議の進捗状況はどのようになっているのか。

2 学校教育の充実について

- (1) 学校基本調査を学校教育の充実にどのように生かすのか。
- (2) 不登校の実態について問う。
- (3) いじめの実態について問う。
- (4) 道徳教育の推進について問う。

3 文化財の保護継承について

- (1) 貴重な文化財の国・県・市の指定及び登録状況について問う。
- (2) 記録保存としてデジタル化について問う。

4番 河野朋子 議員

1 自治基本条例について

- (1) 条例に基づいて市政運営がなされているか。その検証をどのように行っているのか。
- (2) 5年以内に見直しをすると規定してあるが、今後の予定はどうか。

2 第二次総合計画の策定について

- (1) 総合計画について、その必要性を検討したのか。
- (2) 今年度は市民アンケートを実施し、計画策定の工程を決定する予定だが、現在の進捗状況はどうか。
- (3) 策定に当たって、新たな手法や考えを取り入れる予定はあるのか。

5番 岡山 明 議員

1 18歳選挙権に対する対応など選挙制度について

- (1) 来年6月以降、18歳以上の該当有権者数の推移・動向はどうか。
- (2) 現在の期日前投票所、投票当日の投票所の設置数、有権者数、各投票区のバランスはどうか。
- (3) 今後の各投票区の有権者の増減に対する投票所の見直し、特に、期日

前投票所の新規開設の考えはあるか。

2 高齢者を対象とした公園整備について

- (1) 市内の公園の数はどの程度あるか。(地区、総合公園等、用途別で)
- (2) 本市は高齢者を対象とした公園整備の考え方はあるのか。
- (3) 健康寿命の延長を考え、健康遊具の設置の必要性はどうか。

3 市営墓地の管理について

- (1) 市営墓地の管理状況はどうか。
- (2) 墓地回りの環境整備はどうか。
- (3) 南中川墓地の管理はどうか。
- (4) 地域墓地のあり方はどう考えているのか。

6番 中村博行 議員

1 厚陽地区の活性化について

- (1) 厚陽小中学校の将来ビジョンについての考えを問う。
- (2) 旧中学校跡地の利用について、具体案はあるか。
- (3) 厚狭漁港のしゅんせつについて、計画はどうなっているか。

2 厚狭駅南の整備計画について

- (1) コンパクトなまちづくりモデル推進事業の進捗状況について問う。
- (2) 駐輪場の整備について検討されているか。

3 太陽光パネルについて

- (1) 増え続ける太陽光パネルの設置についての苦情の状況はどうか。
- (2) 安全対策についての考えを問う。

7番 岩本信子 議員

1 社会教育の活性化について

- (1) 総合計画の中での位置付けはどうか。
- (2) (1)を踏まえての基本計画と行動計画はどうか。
- (3) 当市の社会教育活動の実態を教育委員会ではどう捉えているのか。
- (4) 活動の検証・評価はどうか。
- (5) 市長部局と社会教育との連携はどうか。
- (6) コミュニティスクールと社会教育との連携はどうか。

2 学校給食費の公会計化について

- (1) 給食費の算定方法はどうか。
- (2) 給食費の徴収・管理はどうか。
- (3) 材料費購入の契約や支払いはどうか。
- (4) 給食費滞納処理について責任者はどうか。

- (5) 現給食会計は法令に基づいて実施されているのか。
- (6) センターになると学校給食の実施主体はどこにあるのか。
- (7) センターになると債務者と債権者はどうか。
- (8) 学校給食費条例の制定はどうか。
- (9) 学校給食法ほかと財務規則の関係はどうか。

8番 長谷川 知 司 議員

- 1 市庁舎の執務環境等について
 - (1) 耐震診断の結果とその後の進捗を聞く。
 - (2) 職員の執務環境の実態と改善策を聞く。
- 2 高齢者福祉の充実について
 - (1) 敬老会の現状と将来のあり方を聞く。
 - (2) 地域福祉充実度合い等を聞く。
 - (3) 地域福祉充実のための具体的施策を聞く。
- 3 27年度施政方針の進捗とP D C Aについて
 - (1) 公共施設統廃合の基本的考え方と再編の進め方
 - (2) 小野田駅前土地区画整理区域の整備
 - (3) 厚狭駅周辺のコンパクトシティ
 - (4) 市役所職員の意識改革

9番 笹 木 慶 之 議員

- 1 都市計画マスタープランについて
 - (1) 総合計画における「将来都市像」を目指し地域の特性や住民意向を十分に考慮し、長期的な視点をもって検討され、本市の特性と問題・課題を踏まえ、本市が進めていく都市づくりの基本目標が明確に策定されている。
市誕生10周年を迎え、この間様々な課題を克服し着実に都市づくりは進んでいると評価はするが、時代に即応した対応も求められる。全体構想の実践と課題について伺う。
 - (2) 地域別構想の実践と課題について伺う。
- 2 空き家等の適正管理について
 - (1) 平成27年2月26日に施行された空き家対策特別措置法は、一部施行が保留されていたが、5月26日から完全施行となった。本市の現状はどうなっているのか。実態把握の体制と取組について伺う。
 - (2) 管理不全な状態にならない対策も必要と思うが、その取組について伺う。

3 鳥獣被害防止のための電気さく施設の安全確保について

- (1) 本市の施設の把握と対応について伺う。
- (2) 一般市民に対する周知等について伺う。

10番 山田伸幸 議員

1 「地方版総合戦略」「地方人口ビジョン」の策定について

- (1) 本市の取組方針
- (2) 市民の意見を反映する考えはあるのか。
- (3) 議会の意見を反映する考えはあるのか。

2 「マイナンバー」の取扱いについて

- (1) 市民への制度周知について
- (2) 情報漏えい対策について

3 プレミアム商品券の取組を踏まえて地域通貨導入へどう生かすか。

- (1) プレミアム商品券事業の総括について
- (2) 地域通貨導入に向けた準備について

4 焼野海岸駐車場でのスケボー対策について

現状認識と対策について

11番 小野 泰 議員

1 水道広域化について

- (1) 今なぜ広域化を目指すのか。
- (2) メリットをどこに求めているのか。

2 学校適正規模・適正配置について

- (1) 現状をどのように認識されているのか。
- (2) 埴生地区の小中連携についての進捗状況
- (3) 適正規模・適正配置に向けた対策は講じられるのか。
- (4) 義務教育学校制度についてのお考えは。

12番 吉永美子 議員

1 安心・安全なまちづくりについて

(1) 防災について

ア 視覚障害者や聴覚障害者への防災メール登録について奨励状況を聞く。

イ 防災行政無線の内容を電話で確認できる音声自動応答サービスの導入について考えを聞く。

ウ 防災士活用のため、防災会議委員に防災士を登用できないか。

(2) 消防団強化について

来年公立化される山口東京理科大学を機能別消防団として活用する考えはないか。

(3) 医療情報キットについて

ア 活用状況について聞く。

イ 希望する全世帯に配布すべきと思うが、考えを聞く。

2 動物愛護について

(1) 飼い主の意識向上への取組を聞く。

(2) 避妊・去勢助成制度をなぜ導入できないのか。

3 うつ対策・自殺予防対策事業導入について

全国に普及しつつある「こころの体温計」の導入について考えを聞く。

4 第6回現代ガラス展について

(1) 評価と成果について聞く。

(2) 小中学生の作品展と同時開催するなど、市民の関心を高める取組をすべきではないか。

13番 石田清廉 議員

1 次代を担う子どもたちの教育現場、現状と課題を問う。

(1) 21世紀を生き抜く力を育成するため、これからの学校教育は、基本的、基礎的な知識、技能の習得に加え思考力、判断力、表現力、多様な人間関係を結んでいく力や習慣の育成などを重視する必要がある。本市の目指す教育方針とはどのようなものか。

(2) 学校におけるいじめや不登校などの実態は正確に把握されているのか。生徒指導上の諸課題への対応や学校教育活動全体を通して、子供たちの自制心や規範意識の低下傾向が言われる中、特に道德面の教育が強く求められている。教育現場において具体的取組はどのようなものか。

(3) 教員の資質能力の向上が求められている。これからの社会に求められる人材像を踏まえた教育や学校現場の課題に対し、教員の教科指導、生徒指導、学級経営など、実践的指導力が必要だ。教育委員会として教員養成段階におけるプログラムはどのようなものか。

2 18歳選挙権の施行に伴う本市の対応はどのようなものか。

(1) 18歳からの選挙権による市内の有権者数にどの程度の影響があるのか。従来若者の投票率は大変低い。この機会に投票率の向上と若者の政治への参加が期待されるが、今後の対応策は準備されているのか。

(2) 18歳選挙権は教育がカギを握ると言われているが、有権者としての社会的責任を自覚、選挙の仕組み、政治や時事問題、財政事情、社会福

祉問題など、知識と関心を高めるため、主権者教育の拡充が求められる。教育委員会としての役割は大変重要であるが、対応は考えているのか。

- (3) 18歳選挙権施行による課題として、教育の機会を捉えて教員による特定の政治的主張を教室に持ち込むことなどがあってはならない。未来を担う若い世代が、国づくりの責任を自覚し公正な一票が投じられるよう、十分な教育への配慮が重要だが、教育委員会として対策は考えているのか。

14番 杉本保喜 議員

1 今年度の防災体制の改善状況と課題について問う。

- (1) 山陽小野田市地域防災計画における次の状況を問う。

ア 消防団活性化総合計画

イ 自主防災組織における訓練の指導

ウ 避難所マニュアルの活用状況

- (2) 市が育成支援している防災士を市としてどう扱うのか。

- (3) 被災経験を持つ当市の防災体制を他市の体制並みになるためには、危機管理室を「危機管理課」に昇格させて体制の強化を図る必要があると考えるがどうか。

2 JR小野田駅周辺地区の整備状況を問う。

駅周辺市街地を都市核として整備促進を図っている現状と今後の計画はどうか。

3 広域交通体系の整備の進捗状況と今後の方策を問う。

3つの地域を核とする当市において、利便性の良い広域交通体系の整備は、定住促進対策の重要課題の一つであるが、その具体的な方策はどうか。

15番 伊藤 實 議員

1 スポーツでのまちづくりについて

- (1) レノファ山口の支援策の進捗状況は。

- (2) 観光資源であるゴルフ利用者の増強支援策は何か。

2 市内業者の育成、支援策について

- (1) 市内業者の具体的な育成、優遇策は何か。

- (2) 入札制度において市内業者への優遇策は何か。